

# 令和5年度 主な関連事業の実績

資料2

## 1 子ども・若者への支援を充実する

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
1	いじめ相談 ダイヤル	いじめにかかわる相談、学校生活にかかわる悩みの相談に対応する。	教育支援課	・市内在住の小学生から高校生までの保護者を中心にいじめや人間関係のトラブルに関する相談36件に対応。
2	ひきこもり傾向 中学卒業生支援	進学も就職もせずにひきこもりが憂慮される中学卒業生への支援策を検討し、訪問や就労・進学にむけた支援を行う。	教育支援課	対象中学卒業生：11名 訪問回数：181回 担当者会議：1回実施
3	プラザ相談	小学1年生から25歳の青少年までの本人や保護者等ならびに教職員を対象とした相談に対応する。	教育支援課	相談件数：延559件 内訳：電話相談 250件 来所相談 延299件 メール相談 10件
4	家庭児童相談	子どもに関する様々な相談に対応する。	こども支援課	相談件数：3,259件
5	障害児通所 給付費の給付	障害児の心身の状況に応じ、健全な発達のために必要な療育等を通所施設で提供する。	障害福祉課	受給者数：1,061件

## 1 子ども・若者への支援を充実する

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
6	ひきこもりの相談	うつ病やひきこもりなどの心の悩みを持つ若者の相談に対応する。	保健予防課	・通常 of 精神保健福祉相談内での対応。 ・毎月第3月曜ひきこもりラジオ(仮)を開催。 実施回数: 11回 参加人数: 20人
7	ひきこもりの家族の教室	ひきこもり傾向にある若者の家族が集い、悩みを分かち合い、本人への対応を検討する。併せて講演会も開催する。	保健予防課	開催回数: 10回 参加人数: 延87人 講演会: 1回 参加人数: 32人

## 2 市民一人ひとりの気づきと見守りを促す

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
8	普及啓発事業	自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に合わせて、ポスター掲示、懸垂幕の設置、市有施設・商業施設等での普及啓発活動、市立図書館でのブックキャンペーン等を実施する。	保健予防課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックキャンペーン3回(市図書館本館、分館2箇所)</li> <li>・デジタルサイネージを用いた周知啓発(市庁舎・図書館・東京電カパワーグリッド前)</li> <li>・3月、9月ポスター掲示</li> <li>・3月広報記事掲載、ラジオ放送、懸垂幕の設置</li> <li>・啓発物品(モバイルクリーナー)の配布(1,480個)</li> <li>・自殺予防相談カードの設置(4,600枚)</li> <li>・4大学・職域(ウェルネス企業、商工会議所)への周知啓発</li> </ul>
9	ゲートキーパー研修	自殺予防についての正しい知識とゲートキーパーについて学ぶ研修を実施する。	保健予防課	<p>一般市民、市職員、大学生、職域、前橋理容師会等を対象に実施。</p> <p>実施回数: 14回 参加者数: 741人</p>

### 3 悩みに寄り添える人を養成する

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
10	教職員向け研修	いじめの未然防止と自殺予防教育の推進を目指した、教職員対象の希望研修を実施する。	教育支援課	・支援センター指導主事が、前橋市特別研修員や初任者に対して、いじめの未然防止や自殺予防に関する研修を行った。スクールロイヤーが、教職員に対して行ういじめの未然防止に関する研修を14回実施した。
11	出前講座	いじめの未然防止、自殺予防、思春期の児童生徒理解における学校・家庭・地域の役割に関する講座を実施する。	教育支援課	・桂萱地区子供会において参加した保護者10名及び、城南小学校5年生とその保護者182名、天川小学校保護者30名、フリースクールに通うこども10名を対象に携帯電話やインターネット利用の注意点や解決方法等に関する講義を実施した。
12	精神保健福祉講座 (関係職員研修)	地域での相談者および支援者となる関係機関の職員等を対象に、精神障害者に関する正しい知識の習得や地域でこころの悩みを持つ人の相談に対応し、速やかに医療機関等へつなげてもらうための研修を実施する。	保健予防課	対象：市内グループホームに勤務する職員 実施回数：1回 参加者数：19名

### 3 悩みに寄り添える人を養成する

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
13	自殺予防実務者研修	市民から相談を受ける機会が多い関係職員を対象に、正しい知識の普及および相談技術の向上を図るとともに、関係機関と連携して早期対応の役割を担う人材を育成する。	保健予防課	市役所職員を対象に実施。 実施回数: 2回 参加者数: 64人
14	介護支援専門員研修	在宅高齢者の生活支援の要となる介護支援専門員のスキルアップを図る。	長寿包括ケア課	全体研修会: 1回 参加者数: 207名 情報交換会: 2回 参加者数: 193名 主任介護支援専門員座談会: 2回(73名)
15	認知症を語るカフェ	認知症の早期の気づきや認知症の生きがいづくり、ご家族の交流の場として開催。専門職や介護経験者が相談に対応。認知症の人やその家族、どなたでも参加可能。	長寿包括ケア課	開催回数: 12回 参加延べ人数: 137名

## 4 こころの健康づくりを推進する

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
16	市民健康講座	医師によるこころの健康に関する講座を実施する。	保健予防課	実施回数: 1回 参加者数: 26人
17	月いち健康相談	健康全般の来所相談。回数の制限なく対応。保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事。	健康増進課	実施回数: 8回 参加者数: 27人
18	いきいき健康教室	「職場のメンタルヘルス」「よりよい睡眠」等をテーマに、こころの健康づくりについて、保健師・管理栄養士・歯科衛生士が地域に出向いて健康教室を開催する。	健康増進課	開催数: 163回 参加者数: 5,964人 (R6年度～教室名を「健康ステップアップセミナー」に変更。)
19	高齢者電話訪問・相談センター事業 ⇒R3年度～高齢者電話訪問事業	【電話訪問】ひとり暮らし高齢者等に定期的な電話訪問を行う。	長寿包括ケア課	登録者数: 63件(R6.3月末) 延訪問人数: 2,451人 (新規受付停止し、令和6年度末をもって事業終了予定。)
20	高齢者電話訪問・相談センター事業 ⇒R3年度～電話相談事業は終了。	【電話相談】高齢者および家族や関係者からの様々な高齢者問題についての電話相談に応じる。	長寿包括ケア課	—

## 5 社会全体の自殺リスクを低下させる

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
21	市内コンビニエンスストアとの連携	夜間や休日でも、自殺を考えている人に相談窓口情報の発信を行えるようにする。	保健予防課	実績なし。
22	市ホームページによる啓発強化	自殺や自殺関連事象等に関する正しい知識を普及するため、市ホームページやフェイスブックなどインターネットを積極的に活用して啓発する。	保健予防課	・自殺対策推進計画やゲートキーパー等について市のホームページに掲載、YouTubeでもショート動画の公開を行った。
23	相談窓口の一元的な情報発信	市ホームページやリーフレット等により、他分野の相談窓口情報を一元的に分かりやすく周知する。	保健予防課	・相談機関のクリアファイルを作成 配布枚数：1000枚
24	新生児訪問	エジンバラ質問票を記載した出生連絡票から母親の産後うつ等の早期発見と支援を保健師・助産師が家庭訪問等で行う。	こども支援課	訪問延件数：191件
25	要保護児童対策地域協議会実務者会議	虐待を受けている子どもを始めとする要保護児童、要支援児童の早期発見と保護、またその保護者、特定妊婦の支援のため、関係者が連携し、情報交換と支援について協議を行う。	こども支援課	進行管理台帳登録者数 要保護児童：155件(309人) 要支援児童：64人 特定妊婦：31人
26	要保護児童対策地域協議会個別ケース検討会議	個別の要保護児童等について、その子どもに直接関わりを有している担当者や今後関わりを有する可能性がある関係機関等の担当者により、その子どもに対する具体的な支援の内容等を検討する。	こども支援課	開催回数：72回

## 5 社会全体の自殺リスクを低下させる

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
27	救急搬送データ共有事業	救急搬送における自損行為のデータを関係機関で情報共有し、傾向と対策を検討する。	救急課	救急出勤(自損行為) 154件【うち不搬送23件(内訳:死亡12件、その他11件)】 救急搬送131人 (内訳:死亡1人、重症38人、中等症65人、軽傷27人)
28	相談窓口啓発事業	自治体の各種相談窓口や関係連絡先等についての情報提供を行う。	救急課	実施回数:340回 講習会の内容により情報提供を行った。(年度ではなく暦年の実績)
29		救急救命講習会等の受講者に、各種相談窓口の連絡先や情報提供を実施する。		
30	ひとり暮らし高齢者等家庭の防火訪問 ⇒R5年度～「避難行動要支援者制度」登録者宅への防火訪問	消防隊がひとり暮らしの高齢者・障害者のお宅を訪問して、防火・防災啓発の普及を図るとともに、市民の生命、身体及び財産を火災から保護するために行う。 ⇒令和5年度から制度登録者に対し、平常時における見守り活動の一環として、防火訪問による火災予防指導のほか、個別避難計画に関する登録情報の確認を実施する。	予防課	実施件数:753件
31	精神保健福祉嘱託医師相談	[事例相談]市役所関係職員が関わっている精神関係の事例の中で、未受診等の困難事例への対応について専門的なアドバイスを行うとともに、精神障害者、その家族に関する相談に対応する。	保健予防課	毎月1回の実施。1回の相談では3ケースまで。 実績:12回実施のうち17ケースに対応。

## 5 社会全体の自殺リスクを低下させる

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
32	支援実務者研修会	精神障害者等の支援に携わる福祉関係者等を対象に、こころの健康づくりや精神疾患および医療に関する知識の普及を図り、支援に当たる実務者の資質向上と関係機関の連携を強化することにより、地域の精神保健福祉の充実を図る。	保健予防課	実施回数: 1回 (令和6年2月20日) 参加人数: 24名 内容: 障害を持つ方の就労支援に関して
33	前橋市自殺対策推進協議会	関係機関・関係団体等の相互の連携の確保および本市における自殺対策の総合的推進を図る。	保健予防課	実施回数: 1回 参加人数: 16人
34	精神保健福祉ネットワーク会議	地域における精神医療関係者や保健福祉関係者の連携を強化し、地域精神保健福祉の基盤づくりを行う。	保健予防課	—
35	健康相談	乳幼児の健康や育児に関する相談に対応する。	こども支援課	窓口相談: 2,142件 妊産婦・乳幼児健康相談: 2,144件 電話相談: 18,602件※集計方法変更
36	家庭児童相談	子どもに関する様々な相談に対応する。	こども支援課	相談件数: 3,259件

## 5 社会全体の自殺リスクを低下させる

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
37	こどもの発達に関する相談	子どもの発達全般・ことば・日常生活動作や手や体の使い方の相談に対応する。	こども支援課	電話:727件 来所:1,897件 園所等訪問:58施設 119人
38	母子(父子)家庭に関する相談	母子(父子)家庭の各種相談に対応する。	こども支援課	相談件数:1,434件
39	障害者相談支援事業	障害のある人や介護者等からの相談に応じ、必要な情報の提供、権利擁護に必要な援助等を実施し、障害のある人の自立した日常生活や社会参加を支援する。	障害福祉課	相談件数:4,608件
40	障害者虐待防止センター設置	障害者虐待の通報や相談に24時間365日対応する。	障害福祉課	通報相談件数:34件
41	障害福祉サービス(介護給付費・訓練給付費)の給付	障害者(児)が日常生活および社会生活を営めるよう、必要な障害福祉サービスを提供する。	障害福祉課 保健予防課	受給者数:2,466件
42	難病療養相談	難病および小児慢性特定疾病の療養相談を行う。	保健予防課	電話:738件 来所:95件 訪問:57件
43	市民相談	近隣、相続および離婚その他市民の幅広い問題に関する相談に対応する。専門的な内容については、関係機関につなぐ。	市民協働課	電話:2,566件 来庁:882件 その他:73件 合計 3,521件

## 5 社会全体の自殺リスクを低下させる

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
44	男女共同参画相談・DV相談	日々の生活の中で抱えている様々な悩みの相談やDVIに関する相談に対応する。	共生社会推進課	電話: 893件 面談: 140件
45	消費生活相談	訪問販売や商品の購入、事業者とのトラブル等消費生活に関する相談に対応する。	共生社会推進課	2,275件 (多重債務相談含む)
46	多重債務(借金問題)相談	多重債務に関する相談に対応し、債務解決方法を一緒に考え、法律専門家に相談をつなぐ。	共生社会推進課	37件
47	生活保護運営事業	生活保護の相談および支援を行う。	社会福祉課	電話: 469件 来所: 1,169件 訪問: 76件 文書: 3件
48	生活困窮者自立支援事業	生活保護に至る前の段階における自立に向けた相談および支援を行う。	社会福祉課	新規相談受付件数: 502件 プラン策定件数(継続含む): 117件
49	まえばしフードバンク事業	経済的な理由で食事に不自由し支援を必要とする人に、規格外等の理由により廃棄の対象となる食品の提供を受け、食料支援を行う。	社会福祉課	個人: 1,027件 団体: 228件 ※集計方法変更 合計: 1,255件

## 5 社会全体の自殺リスクを低下させる

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
50	精神保健福祉 嘱託医師相談	[母子・思春期相談]こころの健康相談のうち、母子保健から思春期までの精神疾患や発達障害に関することや、児童思春期の不登校、家庭内暴力、リストカットなどの自傷行為、食行動の異常、対人関係のトラブルなどの相談に対応する。	保健予防課	実施回数: 0回
51	精神科医による こころの相談	眠れない、性格や生活の仕方が変わった、ひきこもり、ひきこもりがちになった等のこころの悩みやアルコールに関する問題を抱えている本人およびその家族等からの相談に対応する。	保健予防課	実施回数: 14回 相談件数: 22人
52	こころの健康に関する相談	精神保健福祉士や保健師がこころの悩みに関する電話、面接、訪問による相談対応を行う。	保健予防課	面接件数: 602人 訪問件数: 223人 電話件数: 2,170人
53	精神福祉サービス 利用に関する相談	精神障害者福祉サービスの利用について相談に応じ、必要なサービスの調整およびケアマネジメント、在宅支援を行う。	保健予防課	こころの健康に関する相談に含む。

## 5 社会全体の自殺リスクを低下させる

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
54	前橋市地域包括支援センターおよび前橋市地域包括ブランチの運営	高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができるよう、総合相談や権利擁護、介護支援専門員支援、介護予防ケアマネジメント業務を一体的に実施し、高齢者の生活を総合的に支援する。	長寿包括ケア課	地域包括支援センター:12か所 地域包括支援ブランチ:10か所 介護保険その他の保健福祉サービスに関すること:(延)29,160件 権利擁護に関すること:(延)388件 高齢者虐待に関すること:(延)1,529件 (実)148件 会議・研修会の実施及び参加回数 権利擁護業務:126回 ネットワーク構築関係業務:1,165回 介護予防関係業務:379回
55	認知症初期集中支援推進事業	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームを設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。	長寿包括ケア課	・専門職がチームとして訪問等で本人及び家族の支援、サポートを行う。 訪問実人員:44人 訪問延件数:86回 チーム員会議開催回数:22回

## 5 社会全体の自殺リスクを低下させる

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
56	認知症高齢者等 成年後見制度利用支援	介護保険サービス等の利用において、本人の判断能力に不安があり、成年後見人制度の利用が有効と認められるものの、費用負担が難しい人に対し、その費用の補助を行うことにより成年後見制度の利用支援を行う。	長寿包括ケア課	市長申立件数: 20件 成年後見制度利用件数: 25件
57	徘徊高齢者の家族支援・位置情報提供サービス ⇒H31年度～GPS端末貸出事業	認知症による徘徊行動が見られる高齢者を在宅で介護している家族に、人工衛星を利用した徘徊高齢者の位置情報を検索できるGPS機器の貸与を行う。	長寿包括ケア課	利用者数: 81人 (R6年3月末利用者数)
58	徘徊高齢者等事前登録制度 ⇒R2年度～事前登録制度	認知症等により徘徊のおそれのある高齢者等が行方不明となった場合に、早期発見し保護できるよう、身体的特徴や緊急連絡先、顔写真、手のひら静脈などを事前に登録しておく。	長寿包括ケア課	登録者数: 342人 (R6年3月末登録者数)
59	在宅医療・介護連携事業	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するための地域の関係機関の連携体制を構築する。	長寿包括ケア課	・前橋市医師会へ委託し、医師会設置した「おうちで療養相談センターまえばし」と連携し実施。 設置数: 1か所 相談件数: 142件 研修会開催数: 7回

## 5 社会全体の自殺リスクを低下させる

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
60	老人ホーム 入所措置事業	生活環境上および経済的な理由により、在宅において養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置する。	長寿包括ケア課	措置人数: 延 1,208人
61	生活管理指導 短期宿泊	基本的な生活習慣の維持が難しい人を養護老人ホームで一時的に預かって指導や支援を行う。	長寿包括ケア課	委託契約施設数: 4施設 件数: 4件 宿泊数: 88泊
62	緊急通報 システム	緊急ボタンを押すと委託業者の受信センターにつながり、緊急時は協力者に連絡を取り安否確認を行う。月 1回安否確認を行う。	長寿包括ケア課	電話設置台数: 479台 (一般: 427台 シルバーハウジング: 52台) 〈内新規 一般: 108件〉
63	ひとり暮らし 高齢者訪問	ボランティアがひとり暮らし高齢者を訪問し、安否確認や孤独感を和らげる。	長寿包括ケア課	訪問人数: 107人
64	老人福祉 センター	健康増進、教養の向上、各種相談、レクリエーションのための便宜を総合的に供与し、高齢者の総合的な生きがい基地としての施設。(市内5か所)	長寿包括ケア課	利用者数(前橋市民): 168,366人
65	ピンシャン! 元気体操	市オリジナルの体操「ピンシャン! 元気体操」を市内施設や老人センター等で実施。	長寿包括ケア課	実施回数: 5,144回 参加者数: 72,767人
66	ピンシャン体操ク ラブ	介護予防サポーターが中心となり、「ピンシャン! 元気体操(全6曲)」を月2回以上グループで行う。	長寿包括ケア課	登録数: 65グループ 実施回数: 2,443回 参加者数: 31,877人

## 6 勤務問題による自殺対策を推進する

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
67	ジョブセンター まえばし	若者や女性をはじめ、前橋市内で働くことを希望する者の就職支援施設。 キャリアカウンセリングや就職に役立つセミナーやインターンシップ、企業見学会などのマッチングを実施し、併設するハローワークの職業紹介へつなげる。 就職後の悩み相談や仲間づくり講座などによる定着支援も実施。	産業政策課	施設利用回数: 5,381回 施設利用人数: 7,741人 登録者数: 751人 職業紹介 1,205人 就職決定: 493人
68	就職促進のための セミナー	介護職員初任者研修講座、パソコン講座等を実施する。	産業政策課	・働く女性のための テレワーク入門セミナー(全1回 8人) ・管理職女性との座談会(全2回 29人)
69	勤務問題に関する 周知啓発	ストレスチェック制度やハラスメント防止等を普及するため、市ホームページ等で啓発する。	産業政策課	通年市ホームページに掲載し、周知啓発に努めた。

## 7 自殺未遂者の再度の自殺を防ぐ

	事業名	事業内容	担当課	令和5年度実績
70	自殺企図者 相談支援事業	警察から自殺企図者(未遂者)についての情報提供を受け、状況把握や相談対応を行う。	保健予防課	実人数: 0人

## 女性が抱える困難にも関連した自殺予防対策事業（主なもの）

乳幼児・学童・思春期  
0～19歳

青年期  
20～39歳

壮年期  
40～64歳

高齢期  
65歳～

24 新生児訪問

4 家庭児童相談  
36 家庭児童相談

25・26 要保護児童対策協議会  
37 こどもの発達に関する相談

35 (妊産婦・乳幼児)健康相談  
38 母子(父子)家庭に関する相談

19 高齢者電話訪問事業  
63 ひとり暮らし高齢者訪問

18 いきいき健康教室 44 男女共同参画相談・DV相談

50 精神保健福祉嘱託医師相談(母子・思春期相談)

6 ひきこもりの相談 67 ジョブセンターまえばし  
68 就職促進のためのセミナー

17 月いち健康相談

9 ゲートキーパー研修  
48 生活困窮者自立支援事業  
70 自殺企図者相談支援事業

16 市民健康講座 45 消費生活相談  
51 精神科医によるこころの相談

46 多重債務(借金問題)相談  
52 こころの健康に関する相談

8 普及啓発事業

23 相談窓口の一元的な情報発信

43 市民相談

47 生活保護運営事業

48 生活困窮者自立支援事業